

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

ワークショップ開始

(録音の同意をいただいて、録音開始)

木村：それでは、3分前ですけれども、皆さん揃いましたので始めさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

今日は、Aさんから、発熱のため来られませんという連絡がありました。残念ですが、6人でワークショップを進めたいと思います。前は個人でエネルギーフロー図を作ったわけですが、今回は、この6人で1つのシートを作ってもらおうと思っています。

お手元の資料の中に、パワーポイントの資料が入っています。こちらを使って最初のイントロダクションをやっていきたいと思っています。

プロジェクトが目指すもの

▶ エネルギーについてよく知り、自分の意見を持った上で、周りの意見を尊重しながら、エネルギーの将来についての「合意」を目指して話し合う。

- 最終的には、**2050年の日本のエネルギー構造**について考え、話し合う。それを目指してワークショップを進める。
- もし合意が取れなかったとしても、「合意」を目指すためには、さらにどのような情報が必要になるのかを話し合う。プロジェクトでは合意を目指す、全6回のワークショップで必ず取らなければならないということはない。

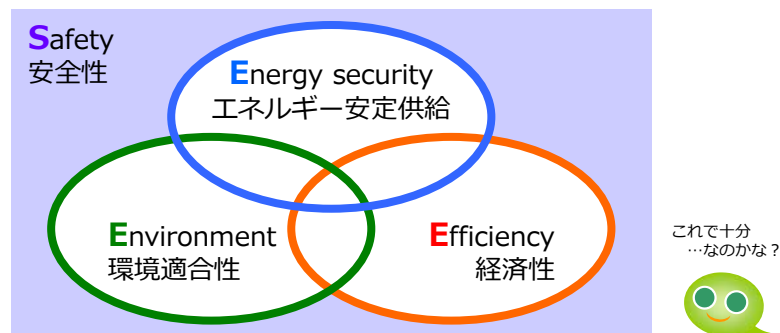
木村：最初のスライドには、再確認ということで、プロジェクトの目指すものを載せています。

「エネルギーについてよく知り、自分の意見を持った上で、周りの意見を尊重しながら、エネルギーの将来についての『合意』を目指して話し合う」ということを目的としています。




エネルギーの将来を考える

- ▶エネルギーの将来を考えるには、「3 E + S」が重要とはよく言われる。大前提のSに加え、3 Eのトリレンマを考えなければならない。



木村：エネルギーの将来を考えるには、「3E+S」が重要で、それぞれについて今まで講師の先生に講義していただきました。

前回は、「合意」を目指したのですけれども、その前に、まずは自分の意見を確認しようということで、それぞれがエネルギーフローを作成し、その後話し合いを始めたところで時間が来てしまいました。皆さんのご協力もあって第7回を開くことができましたが、今回は合意を目指した話し合いをやっていきたいと思います。




「エネルギーの将来について、
確たる知識に基づき、
価値観を越えて合意をつくる」

プロジェクト

〔ステップ1 …60分〕

2050年のエネルギーフローを 話し合いながら、まとめてみよう

- 消費側（25分目安）、転換部・電源構成（25分目安）
- 技術革新等の検討も含めてみよう。
- 完成したら、皆が納得できているかどうかを見直そう。



ちょっと複雑だけど・・・

木村：本日は、2050年のエネルギーフローを話し合いながらまとめてもらいたいと思っています。その前に、皆さんには前回まとめてもらったエネルギーフローを再配布しています。その裏面には、他の皆さんからいただいた附箋を貼ってあります。今から3分くらい時間を取りますので、前回何を話したかということをお出ししてみてください。では、お願いします。

（各自、自分の作成したシートを見直す）

木村：3分くらい経ちましたけれども、よろしいでしょうか。何を考えたかということをお出ししていただければと思います。